

あなたのいちばんに。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

8

2019.AUG

VOL.121

Top Interview

株式会社 福岡養鰻 代表取締役 各務 秀人 氏

有限会社 農山畜産 代表取締役 農山 照夫 氏

株式会社 ベスト・スマイル 大浦十三番館 代表取締役 古木 正夫 氏

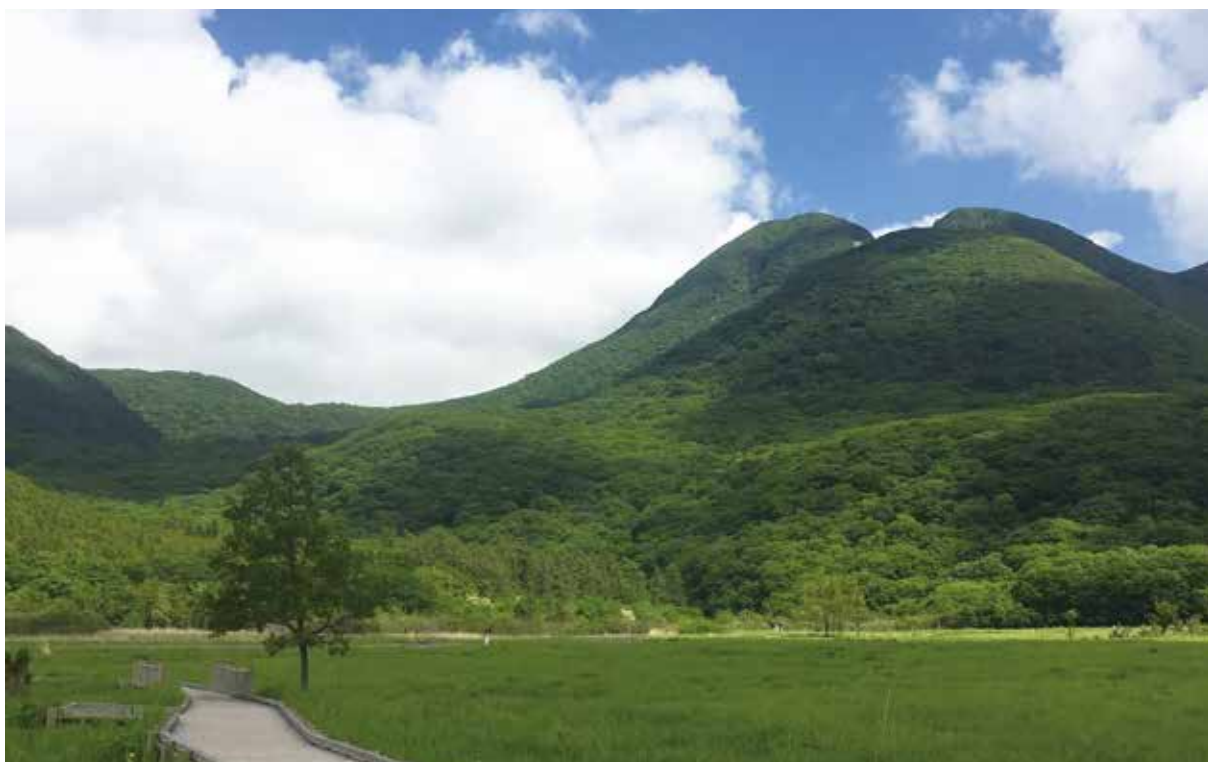
長崎船舶装備 株式会社 代表取締役社長 秋吉 和隆 氏



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

カッコウの鳴き声が 草原に響き渡る



▲タデ原湿原入り口付近



▲ヒゴタイの花

●タデ原湿原 (38ha)

2005年、「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」としてラムサール条約に登録。山間地域に形成された中間湿原としては国内最大級。木道はバリアフリー設計で20・40・60分の3つのコースがある。

ドライブもしたいが、途中でウォーキングしたいという願いを叶えてくれる九重の長者原ビクターセンタ―にやつてきた。やまなみハイウェイのほぼ中ほど、長者原は標高1,000m、下界の暑さも届かない。センターの裏手には九重山群の湧水地タデ原湿原が広がり、毎年春に野焼きが行われ生態系が保たれている。湿原には木道が整備され気軽にウォーキングができる。夏にはカッコウの鳴き声が、緑の湿原に響きわたっていく。「静かな湖畔の森の陰から、もう起きちゃ如何と…」を思わず口ずさんでしまう。

山々は堂々として、眼前に三俣山、その右奥には噴煙を上げる硫黄山、さらに星生山ほつしょうざんの稜線が連なり絵のように美しい。近くには温泉、冷泉が点在し、日帰りするのがもったいなく思える天空の楽園である。

(文・阿井川 圭)

CONTENTS



懐かしい情景を探して
カッコウの鳴き声が草原に響き渡る

26 **地域と共生する FFG**
熊本県 玉名市

Top Interview

- 2 **福岡銀行**
株式会社 福岡養鰻 代表取締役
各務 秀人 氏
- 8 **熊本銀行**
有限会社 農山畜産 代表取締役
農山 照夫 氏
- 14 **親和銀行**
株式会社 ベスト・スマイル 大浦十三番館 代表取締役
古木 正夫 氏
- 20 **18bank 十八銀行**
長崎船舶装備 株式会社 代表取締役社長
秋吉 和隆 氏

32 **地域と共生する FFG**
福岡県 みやま市

38 **九州の逸品**
一文字ぐるぐる

40 **アジア駐在員報告(大連)**

46 **寄稿**
三菱総合研究所 MONTHLY REVIEW

52 **FFGニュース**

経営を導く格言
横井 小楠

バックナンバーのお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。 <http://www.fukuoka-fg.com/>



写真協力：福岡タワー株式会社

今月の表紙 福岡タワー

表紙の写真は、地上1階のエレベーターホールから塔体を見上げた景色です。

福岡タワーは全長234m、海浜タワーとしては日本一の高さを誇ります。年間の展望者数は約63万人、地上123mの最上階の展望室からは福岡の街並み、海と空が交わる風景を360度の大パノラマで一望できます。また、夜の福岡タワーはその季節にちなんだイルミネーションをまとい、百道の夜景をきらびやかに彩ります。



 福岡銀行

九州産うなぎの加工から農業へ。
「三方良し」の精神で
安心・安全な食品を提供する。

株式会社福岡養鰻

ふくおかようまん

各務秀人氏

代表取締役

かくむひでと

取引店／福岡銀行 曾根支店

■会社概要

設立:1984年／所在地:北九州市小倉南区／資本金:1,000万円
(グループ1億1,600万円)／従業員:57名(グループ74名)(2019年
6月末現在)／事業内容:鰻加工品の製造・販売、活鰻販売、鰻養殖、
不動産賃貸業、太陽光発電事業、農産物の生産・加工・販売／事業
拠点:北九州市小倉南区、福岡県豊前市／関連会社:株式会社エフ
ワイ、株式会社エフワイアグリ、有限会社フクヨウ



本社前(左から各務社長、柴戸頭取)

父の頼みで事業を引き受け 静岡と大阪で修業

福岡県北九州市で代々続く農家を営んでいた私の父・利光は、戦後の農地改革によって耕作地を大幅に減反させられたことにより、農業だけでは子供を大学にやれないと養鰻業に活路を見出すことにし、1974年に福岡県庁内に設立されていた福岡県養鰻漁業協同組合（福岡市）の組合長に就きました。国と福岡県による助成の目処も立ち、鰻の加工場建設までもう一息というところで、突然加工場の運営を予定していた企業が撤退し、困り果てた利光は、当時大学で経営学を学んでいた私に相談を持ち掛け、私もそれに応じることを決心しました。

鰻について何の知識も持っていなかった私は、大学を卒業するとすぐに、鰻の本場・静岡の加工場で鰻の捌き方から焼き方までを学び、大阪の鰻の卸問屋で鰻の卸販売のイロハを学びました。わずか1年という駆け足での修行でしたが、この時に身に付けた商売の基本は35年が経過した今でも生きています。

1984年、私は北九州市小倉南区上吉田

に鰻の加工場を建設し、仕入先も販売先も決まっていなかった状態で無謀な船出をしました。様々な伝手を辿って大手水産会社の協力工場にしていただいたり、大手商社の子会社に仕入れをバックアップしていただいたり、系列の飼料メーカーの取引先である養鰻場との取引を仲介していただいたりしました。

鰻の需要は夏場にピークを迎えるため、夏場を過ぎて相場が下がった時期に鰻を仕入れ、加工したのち冷凍保存し、次の需要期である夏に販売して大きな利益を得るのがセオリーです。ただし大手の下請けだけの加工では都度わずかな利益しか生まず、自社で秋に加工した蒲焼を夏まで持つて販売することさえ出来れば、大きな利益を生み出せるとの思いで、1993年に思い切って大手水産会社との取引を縮小、自社ブランドでの販売に舵を切りました。

ところがその後、中国からの輸入品の大幅な値下げにより、当社の経営は急激に悪化します。スーパーなどでは安価な輸入品の隣に並べられ、大きな価格差があることから消費者は輸入品をこぞって選びました。「国内産の方が味も質も良い」とは誰もが理解していても



2 1



3





各務社長

価格だけで選ばれては勝負になりません。毎年のように赤字が膨らみ、最も多いときには3億円の累積を抱え、廃業寸前の状態にまで至りました。

ところがそこから転機が訪れます。その転機とは「産地表示の義務化」でした。商品のラベルに鰻の原産国名を表示することが義務化されたのです。さらに同時期に発生した中国産の「毒入り餃子事件」の報道もあって、多くの国内消費者が多少価格は高くても、安心・安全な国内産食品を求めるようになりました。そうして当社の業績も回復し、経営も安定していきました。

手焼きと機械焼きの二本立て 日本一美味しい鰻の蒲焼へ

当社の鰻の蒲焼には2つの製造ラインがあります。一つが熟練の職人による手焼きで「まんてんや」のブランド名で展開し、もう一つが長年の経験と技術を継承した機械焼きで「鰻天屋」のブランド名で展開しています。「串打ち三年、割き八年、焼きは一生」と言われるなど、蒲焼の一番の決め手は「焼き」にあります。独自にブレンドしたタレをかけて強火でじっくり焼きながら、余分な脂を落とし、焦げないようにきつね色に焼き上げて、鰻本来の味を引き出しています。機械焼きにおいても、鰻の表面の両側に無数の小さな穴を空け、皮と身の間の余分な脂を落とし、川魚特有の臭いを抑えています。

産地を厳選した活鰻を仕入れ、加工した鰻の品質管理を徹底し、厳しい検査をクリアした鰻だけを出荷しています。トレーサビリティが確立されているのは当然のことですが、HACCPの管理手法に基づく管理体制も万全に整えています。

鰻には食品としての『力』があり、「鰻を食べる」という言葉からだけでも力が湧きます。



8 6



1.手焼き「まんてんや」の製造ライン。鰻の脂ののりや天候、気温などの状況に合わせて微妙に焼き加減を調整する／2.鰻をさばっている様子(見学風景)／3.4.機械焼き「鰻天屋」の製造ラインを見学／5.職人が手焼きする／6.株式会社エフワイアグリは豊前市でベビーリーフを栽培／7.ベビーリーフを試食／8.企業メッセージ





前列左2番目から於鰻事業部長、土坂常務、各務社長、柴戸頭取、坂下支店長（福岡銀行）、各務取締役

日本人に限らず鰻の蒲焼はご馳走であり、特に土用の丑の日（どようのうし）は特別な日となっています。当社は「日本一美味しい鰻の蒲焼を作る」という目標を持って、日々工夫を重ねています。

シラス資源の減少に危機感 ベビーリーフ生産に活路

一方でシラス資源の枯渇が深刻になっています。2012年の暮れからの大不漁には、かつてない衝撃を受けました。時代の変化に対応し、事業を安定・継続するためには鰻だけに頼らない経営の多角化が迫られていると感じました。

知人の紹介で不動産賃貸業を手掛け、九州各地での太陽光発電事業にも進出しました。しばらくの間はこれらの新事業で安定した収益を得る事ができそうです。

そこで新たに取り組み始めたのが農業です。実家がもともと農家だったこともあり、一定の農地は保有していたのですが、その有効活用を考えていた時に、ベビーリーフ生産（日本一の農業法人「果実堂」（熊本県益城町）を知りました。ベビーリーフは水洗いするだけ

で食べられる手軽さと栄養価の高さによって需要が急増しており、果実堂はハード（設備）からソフト（管理）まで徹底したデータ管理でベビリーフを栽培していました。

福岡銀行には果実堂の創業者である井出剛社長と接点を作っていたが、栽培の現場で若い社員が明るく元気に働いている姿に感動を覚え、私の目指す農業がここにあると確信して、その場で果実堂に経営コンサルをお願いしました。こうして「株式会社エフワイアグリ」を設立し、豊前市内でホウレン草やリーフレタスのハウス栽培を始めました。豊前市にも協力していただき、今後2年間で11億円を投資してハウスを160棟、農地を12〜15ヘクタールに拡大する計画です。当面、販売は果実堂にお願ひし、当社は栽培に全力を注ぎます。一日も早く事業の骨格をつくり上げ、その他の野菜も合わせて10億円以上の売上高を目指します。将来は収穫した農作物の加工にもチャレンジしたいと考えています。

養鰻業から不動産賃貸業、太陽光発電業、そして農業……。これまでの歩みを振り返ると、「人との巡り合い」の素晴らしさを痛感しています。ベビリーフの果実堂・井手社長を

はじめ、時代の先を見つめて意欲的に事業に取り組む方たちとの出会い、力添えがあったからこそ当社の「今」があるのです。

環境の変化に適応 社員の力で将来を拓く

当社の行動指針には「『三方良し』の精神を心掛けること」と掲げています。お客様はもちろんです、仕入先の応援があつてはじめて商売が成り立つからです。

私は25歳で創業して、これまで35年間トップとして企業の舵取りを行ってきましたが、現在は「社員全員の力で伸びる会社」に変身中です。事実、多くの優秀な社員がいますが、社員にもっと活躍の場を提供するとともに社員それぞれが事業を広げてもらいたいと思っています。

経営を取り巻く環境は常に変化し、一つの事業のライフサイクルは短縮され、今後はこれまで思いもつかなかった事業が成長するでしょう。一生懸命考えて、情報収集のアンテナを広げ、環境の変化を感じ取る力を備え、勇気を出してチャレンジする気持ちがあれば、会社は成長し続けることができると考えています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 柴戸 隆成

鰻の加工業を文字通りゼロからスタートされ、幾多の危機を乗り越えて、安心・安全で美味しい国内産鰻を食卓に提供されています。

刻々と移り変わる時代において経営の多角化を進められ、近年は農業分野にも進出されました。

逆境を乗り越える不屈の精神と環境変化に敏感な適応力を持ち、社員皆さんの力を合わせながら更なる成長へ向けてチャレンジを続けられることを期待しています。





 熊本銀行

山を育てるために、豚を飼う
緑豊かな檜の森〃モンヴェール農山〃。

有限会社 農山畜産

のうやま ちくさん

代表取締役
農山 照夫氏

のうやま

てるお

取引店／熊本銀行 水俣支店

■会社概要

創業:1971年／設立:1978年／所在地:熊本県水俣市／資本金:
1,000万円／従業員:23名／事業内容:養豚業、食肉加工業、食肉
販売業、レストラン業、林業



モンヴェール農山 レストラン「ラルジュ」前(左から農山社長、野村頭取)

高校生で養豚を志す 親の反対を押し切って起業

当社の農場は、八代海や天草地域、遠くは長崎県雲仙を望む熊本県水俣市の小高い山の上にあります。降り注ぐ太陽の光の下、澄み切った大気の中で、ミネラル分をたっぷり含んだ地下水と自家配合の飼料で肉豚を大切に育て、自社の加工場で加工した肉を販売しています。農場全体を神社仏閣にあるような大きな檜の木で覆われた神秘の山にしたい。それが当社の大きなビジョンです。

私が養豚を始めたのは17歳、高校3年生の時。1年生から2年生に進級する際の実習で養豚場に行った際に、給餌や豚舎の手入れに魅力を感じ、それから養豚を志すようになりました。私の実家は水俣市の隣の津奈木町^{つなぎまち}で稲作と林業を営んでおり、3年生の時に実家の隅に豚舎を建てて母豚を10頭ほど飼育しました。その頃、津奈木では豚舎は少なく牛舎の方が多かったのですが、逆に少ないからこそ将来性があると考えたのです。20歳の時に「本格的に養豚をしたい」と両親に話したところ猛反対されましたが、説得を重ね、ついには両親も私の本気度を理解してくれました。

実家の田んぼの中に豚舎を新築して養豚業を本格化し、学校の授業や実習で覚えた知識をもとに、分からない時は書物で調べたり、詳しい方に尋ねたりしながら、徐々に規模を広げていきました。28歳の時には水俣市の中心部に直営店を開業し、精肉業にも進出しました。

「緑の山」に加工場、レストランも 癒しの空間に

30歳の時、理想の土地を求めて探し回り水俣市街地から車で約20分の場所にある5haの山林を購入し、34歳で新しい農場を建設しました。当時独身だった私に銀行もよく建設資金を貸してくれたと感謝しています。今では、総面積約50ha、東京ドーム約10倍の広さを誇る農場で、「モンヴェール農山」と名づけました。モンヴェールとはフランス語で「緑の山」を意味します。私自身で開墾し、道路までも整備しました。その後に家族ができ、家族の支えもありながら、滝や展望台を手造りしました。駐車場の隣には農場を整備した際に出土した石を使って大きな滝を造り、地下水を流しています。滝の迫力に圧倒されつつ、水の音で





農山社長

大自然の中で育った豚 オリジナルギフトが人気

大自然の中で愛情を持って育てた高品質の豚を直接お客様に提供する。これが当社の

癒される空間になりました。レストランから見える草原にはヤギや羊を放ち触れ合えるようにしています。

今年の3月には水俣ICが開通し、九州各県から多くのお客様にお越しいただいています。農場は標高300mくらいの所にあるため、夏も涼しく、お客様からまるで避暑地のようと言ってもらっています。

こだわります。育てる豚は、最高クラスの食味を持つバブコック種（四元豚の一種）で約4,000頭飼育しており、柔らかな肉質、甘い脂身、ドリップ（肉汁の流出）が少ないことが特長です。

また、当社の加工品は全て自社生産の豚肉を使用した手作りの商品で、加工の際には、厳選されたドイツの高級スパイスや、地元芦北町の温泉塩「岬の御塩」を使用しています。肉の量をかき増しする増量剤や保存料は一切使用しておりません。先日、当社のモンヴェールポークを料理に使っていただいた東京の大手ホテルの料理長様からとても美味しかったと直々にお褒めをいただき、今後もレストランで提供したいとおっしゃっていただきました。

数多くの種類があるウインナーのほか、生ウインナー、食べたなら笑顔になるメンチカツ、女性に人気なザウマーゲン、ワインによく合うチーズのようなスモークレバー、やわらかなソフトポークジャーキーを店頭やインターネットで販売していますが、現在最も好評いただいているのがギフトセットで、各百貨店やスーパーなどで取り扱っていただいています。自社のオリジナルギフトは、贈られる方も受け取られる方も喜んでいただける商品内容で、1度



1.レストランで提供されるポークステーキ、メンチカツ
／2.対談風景／3.レストラン「ラルジュ」店内／
4.5.ハム、ソーセージの生産工場「ファクトリーラルジュ」見学風景／6.自社農場で養豚・加工したブランド豚「モンヴェールポーク」／7.敷地内にあるハンモック／8.モンヴェール農山メッセージ





加工場と手造りの滝を背景に、前列左5番目から農山取締役、農山社長、野村頭取、大川支店長（熊本銀行）

に40〜50セットを注文されるお客様もいらっしゃいます。そのため、お中元、お歳暮の時期は大忙しとなり、嬉しい限りです。先日、長女の結婚式の引き出物としてギフトセットをお渡ししたところ、皆様にとっても喜んでいただきました。

また九州各地で開催される食のイベントにもよく参加しています。生ウインナーやジャンボ豚串、メンチカツ、コロコロステーキなどが人気で、行列ができるほど賑わっています。

ゆっくりくつろげるレストラン にぎやかにバーベキューも

農場のレストラン「ラルジュ」（フランス語でゆつたりの意味）では、加工したばかりのウインナーやメンチカツ、とんかつ、しゃぶしゃぶなどを、ドイツビールやワインと一緒に、素晴らしい景色の中で楽しんでいただけます。

レストランに隣接するバーベキューハウスではモンヴェールポークを中心に豚肉と牛肉も楽しめます。100人を超える団体様の歓送迎会等にも利用していただいています。今年的大型連休の際には、屋外の檯の下にテーブルとハンモックを設営したところ、家族連れや

カップルなど、多くのお客様に喜んでいただきました。

手造りの駐車場も80台以上を止められるように整備いただきましたが、大型連休中は満車になるほどご来店いただきました。水俣市街地との送迎バスもご準備しており、一日に何度も往復しております。お客様が多い時は、加工場や農場のスタッフも総出で対応させていただきます。

大事にしたい人との「縁」 これからも続く手造り農場

これまで事業を続けることができたのは人との『縁』ではないでしょうか。多くの人に支えられて今日があります。以前、ある著名な獣医師の講演会を聞きに行った際、講演の内容に感銘を受け、先生に「是非当社の豚を診てくれないか」とお願いしました。まさかとは思いましたが快く引き受けていただき、それから10年以上も今日まで親しくお付き合いさせていただいています。心が触れ合うような親しい方が全国に沢山いて、何かと力を貸してくれています。

さて、今後の課題は「アニマルウェルフェア」

(※)です。昨年、養豚の先進地デンマークを視察しましたが、レンガ造りの広々とした畜舎で、豚が清潔でのびやかに育てられていることに感動を覚えました。当社の農場も豚が生き生きと元気に過ごすことができる環境をもつと充実したいと強く思いました。現在、そのための具体的な建設計画を進めています。

当社の農場は檜の森に包まれています。この「緑の山」のために養豚をし、農場内のレストランで自社加工したウインナーなどの加工品を食べていただき、美味しいと感動していただくことが何よりも嬉しく思います。

知人から、養豚農家なのか、林業なのか、土建屋なのかわからないね、とよく言われますが、今でも朝早くから夜遅くまで重機に乗り、農場内を整備することが楽しみなのです。

現在、さらに多くのお客様に喜んでいただくために、ドッグランとグランドゴルフ場を計画中です。宿泊施設を作つて欲しい、温泉を掘つて欲しい、とよく言われますが、それらは後の世代に任せたいと思っています。

(※)動物福祉。家畜を快適な環境下で飼育することによってストレスや疾病を減らし、生産性の向上や安全な畜産物の生産をめざす考え方で、農水省も推進している

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳



高校在学中の頃から夢であった養豚の世界に入り、広大な山地を自ら切り開かれ、ブランドポークの生産から販売、レストラン経営まで六次産業化を実践されています。

「仕事が好きで人との縁を大切にすることが事業の発展につながりました」という言葉に、生きものと人への温かい眼差しを感じました。

これからもストレスのない健康な豚の飼育に傾注され、安心安全なブランドポークの提供とともに地域の発展に貢献されることを祈念しております。



親和銀行

豊かな住環境の中、
ホテルのような佇まいとサービスで、
優雅で安心なシニアライフを提供する。

株式会社ベスト・スマイル
おお 浦十三番館
うらじゅうさん ばん かん

代表取締役
ふる き まさ お
古木 正夫 氏

取引店／親和銀行 大波止支店
十八銀行 本店営業部

■会社概要

設立:2005年／所在地:長崎県長崎市／資本金:1,000万円／従業員:
70名／事業内容:住宅型介護付有料老人ホーム運営、重要文化財・
歴史的建造物修復並びに一般建築設計、不動産ビル経営／関連
会社:株式会社M.M設計、M2コンサルティング株式会社



有料老人ホーム「大浦十三番館」前(左から古木社長、吉澤頭取)

異国情緒漂う町に立地

異国情緒漂う歴史の町・長崎の大浦地区で、高齢者の自立支援のための全く新しい発想の有料老人ホーム「大浦十三番館」を提供し、安定した施設運営を実現しています。

これまでの老人ホームは、病院経営者が医療事業の延長として開設することが多く、病院のような外観と内装で、看護の効率性を重視した建物がほとんどでした。そのため居住スペースにゆとりがなく、入居者は自身が入院患者のように扱われていることに不満を感じているのではないのか、また郊外の山中などに立地されることも多いため、買い物や交通の便は悪く、健康な人が人生の後半を過ごす場所として、果たして生き甲斐の持てる環境なのかと、設計事務所の社長として多くの施設設計の仕事をしていた私は疑問に感じていました。

「出来れば入りたくない」という一般市民の印象を払拭し、「入ってみたい」「住んでみたい」

と思える魅力ある建物や施設にできないものか。それはやがて高齢者となる私自身の問題でもあり、建築設計の専門家としてのキャリアを懸けて挑戦してみたい、と腹を固めていったのです。

世界遺産を望む高齢者施設

眼前に広がるグラバー園や大浦天主堂、停泊中のクルーズ船、三菱重工業長崎造船所のジャイアント・カンチレバークレーン、稲佐山など、世界遺産の構成資産や長崎の名所が一望できる大浦町の一角に、2006年、地上9階建ての「大浦十三番館」を竣工しました。「人生一度きり。やらずに後悔するよりやってみろ」と言う言葉を私の人生訓としています。が、まさに人生を懸けた事業となりました。

「主役はあくまでお客様」を事業展開のコンセプトに置き、「交通の利便性」「便利な環境」「必要な時に利用できる医療と介護」





古木社長

「魅力ある建物と設備」の4項目を徹底的に追求しました。外観や各階のフロアは高級感のあるホテルそのものにして、玄関を一步出るとすぐ目の前に路面電車やバスの停留所があり、デパートや商店街、繁華街に気軽に外出することができます。生活に必要な雑貨や食品、飲料などがすぐ入手できるようコンビニエンスストアを1階に併設し、病院、銀行、郵便局、スーパーなども徒歩圏内にあるなど、利便性の極めて高い立地となっています。

老人ホームのイメージを払拭

すべての居室は完全個室で、最も狭い個室でも有料老人ホームの規定のほぼ1.5倍の25・92㎡あり、最も広い部屋は54・25㎡あります。火災報知器、スプリンクラー、緊急コールなどの安全対策を施すことはもちろんのこと、キッチン、トイレ、浴室、洗面台、洗濯機置き場、ベランダを全室に設けるなど、当社は居室をお客様の「住まい」だと考えています。各室の玄関にはあえて段差のある上がり框かまちを設け、掃除や食事のお届けなどのお世話をする職員もここで靴を脱ぐシステムにしました。

館内には協力医療機関の医師が定期的に来館して診察や往診をする医務室をはじめ、フィットネスルーム、機能訓練室、浴室、介護が必要な方のためのリフト浴槽、美容師によるサロンルーム、静かな読書のできる図書室、カラオケや映画鑑賞もできる音響室、ご家族や知人が宿泊できるゲストルーム、展望レストラン



9 7



6



8



1.有料老人ホーム「大浦十三番館」外観／2.「大浦十三番館」居室／3.「大浦十三番館」談話コーナー／4.5.「大浦十三番館」見学・対談風景／6.デイサービスセンター「西山十三番館」茶室／7.西山十三番館」浴室／8.「西山十三番館」夜外観／9.企業メッセージ



「大浦十三番館」屋上から長崎港を見渡す（前列左5番目から古木社長、吉澤頭取、前田支店長（親和銀行）

を設置しています。

五島列島育ちで高校は苦学

私は1950年、長崎県・五島列島の奈留島（南松浦郡奈留町）で生まれました。その頃の島には電気が届いておらず、半農半漁の生家は、小学校に上がるまでは、ランプでの生活を送っていました。中学校時代の担任に「本土の高校に行け」と強く励まされたため、長崎市内の長崎工業高校の夜間部に進みましたが、親の仕送りを受けず、飲食店の住み込み配達、建築事務所の雑用係などで自活しながら、4年間通いました。

卒業後は京都や長崎市の建設会社で約4年半、建築の現場監督などを経験し、その後、長崎市内の設計会社で勤務しながら2級建築士の国家試験を取得しました。そうして27歳の時、独立して「株式会社M・M設計」を設立しました。

重要文化財の修復に従事

その後、1級建築士の資格を取得し、多くの建物の設計に携わっていますが、転機となったのが、重要文化財の復元や修復事業の仕事に出会ったことです。

長崎では1970年代から、江戸時代におランダ人らが居留した出島の復元事業が始まっており、発掘調査に合わせて掘削の図面作成など詳細な書き取りが必要でした。文化財の仕事は過去の記録も丹念に調べ、修理の有無や使用材の種類など釘一本までチェックする地道に手の掛かる仕事ですが、その作業を依頼されたのです。

その後、ユネスコの世界遺産登録に名乗りを上げるため、グラバー園や大浦天主堂の修復、県内各地の潜伏キリシタン関係施設や遺跡の調査に事業が広がりました。

常にお客様目線で前進したい

長崎県において少子高齢化は年々進行しており、大浦十三番館の入居者の平均年齢は85歳となっています。お客様からの要望を真摯に受け止め、住宅型、外部サービス利用型、介護付と、事業形態を常に見直しており、お客様の選択に不自由が生じないように努めています。

当社は同館の安定運営だけに満足せず、事業コンセプトに合う立地を常に探しながら今後も事業を拡大することを視野に入れていきます。2009年、長崎市西山に新しいスタイルのデイサービスセンター「西山十三番館」を開設しましたが、高齢者のための施設はまだまだ不足しています。とくに団塊の世代が70歳代となり、年金だけで入居できる施設が必要になってきています。当社は長崎の発展と社会貢献につながる事業展開をさらに追求してまいる所存です。

■ インタビューを終えて

親和銀行 取締役頭取 吉澤 俊介

人生100年が夢ではない時代が現実になってきました。株式会社ベスト・スマイルが長崎県内で前例のない、高齢者の生き甲斐を大事にする新発想の有料老人ホーム事業に取り組まれたことは誠に時機を得たもので、行政や業界の注目を一身に集められています。

古木社長は、介護事業や設計業のほか、長崎市唯一のサウナ・カプセル事業を運営されていますが、重要文化財や歴史的建造物の修復にも長年従事され、世界遺産登録にも貢献されました。これからも引き続き長崎の発展のために、ともに尽力されることを期待しています。





18ank 十八銀行

「百年企業」を目指し長崎から世界へ。
伝統の技術、先見先手の精神で、
快適空間づくりに取り組む。

ながさきせんぱくそうび
長崎船舶装備株式会社

代表取締役社長
あきよし かずたか
秋吉和隆氏

取引店／十八銀行 本店営業部
福岡銀行 長崎支店
親和銀行 長崎営業部

■会社概要

創業・設立:1943年／所在地:長崎県長崎市／資本金:2億8,000万円
／従業員:400名／事業内容:船舶居住区内装工事の企画・設計・
施工、糧食冷蔵庫工事、深冷船タンク防熱工事、商業施設企画・設計・
施工、建築工事、船舶・陸上家具の制作／グループ企業:株式会社
ムカイ技研、株式会社パナホーム長崎

本社前(左から帯田副社長、秋吉社長、森頭取)



艦船装備から船舶内装へ

古くから国際貿易港である長崎は戦前、軍艦建造の造船基地として発展しました。その中心となったのは1887年、明治政府による払い下げで民営造船所としてスタートした三菱重工業長崎造船所（以下、三菱重工長崎）でした。そこで次々と建造される軍艦の内装や装備を整えて仕上げるのが、1943年に発足した当社の前身、長崎艦船装備株式会社の仕事でした。

すでに太平洋戦争に突入していたため、軍艦建造を急ぐ海軍艦政本部の要請で、地元の重松洋家具装飾店と横田洋家具装飾店が合併して設立（初代社長は重松英雄、専務は永井稻秀）しました。1945年8月9日の長崎原爆で多くの社員の生命と設備を奪われたものの、翌年の1946年、「長崎船舶装備株式会社（以下NSS）」と社名を改め、復興へと踏み出しました。

造船業界は好不況の波高し

1950年の朝鮮戦争勃発で、造船業は

一気に回復し、わが国が世界トップに躍り出ました。高度成長時代には客船や大型タンカーの受注が相次ぎましたが、1973年の石油ショック以降は、急激に力をつけてきた中国や韓国の追い上げで厳しい競争時代を迎えます。

造船業界は好不況のサイクルを繰り返すのが常で、当社の業績もお取引先である造船会社の受注に影響されてきました。高度成長時代は次の上げ潮のサイクルが巡ってくるのを待つことで、何とか耐えしのぐことが出来ましたが、中韓との三つ巴の競争にさらされてくると、船舶内装も独自の技術開発や、欧州からの新素材輸入などに取り組みざるを得なくなってきました。

創業者の陣頭指揮で危機脱出

振り返ってみると、1962年の造船不況で、売上高3億5,000万円、3,860万円の赤字決算を計上したときが最初の危機でした。創業者の一人・永井稻秀が会長職から社長に転じ、不採算部門の譲渡、希望退職者の募集、役員報酬カット、創業の地である本社



2 1



3





秋吉社長

跡地の売却などあらゆる方策を動員し、ようやく危機を脱しました。

このとき、永井は「人員整理は経営者の敗北である」と言っており、従業員の解雇をただの一人も行いませんでした。技術を持つ人は当社の取引先として独立を手助けし、希望退職者は一人ひとり就職先をあつせんし、塗装、配管、鉄艦装（装置や設備の取り付け）などの業務は、従業員の雇用継続を条件に他社に譲渡するなど、実に行き届いたもので、「人を大事にする」という当社の企業風土はこのときから育まれたと思っています。

客船火災教訓に結束高める

永井の経営姿勢は「先見先手」「雑草のごとく不屈の精神」という社訓として歴代の経営陣に受け継がれ、現在の社員数は約400名、協力企業従業員は1,000名を数えます。国内外30か所に事業拠点を築き、年間300隻を超す船舶内装を受注し、そのシェアは60%と国内一の基盤をつくり上げることが出来ました。

また一方では、海外における工事にも着手し、台湾をはじめ中国、スリランカ、東南アジアの客先営業も軌道に乗りつつあります。

この間には、大きな教訓を得た事故もありました。2002年10月、三菱重工長崎で建造中の豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」で発生した火災です。1日半燃え続け、船体の4割を焼失し、経営的にも大きな痛手でしたが、「自分たちの船をもう一度！」という強い想いで復旧工事に着手。同時受注だった「サファイア・プリンセス」と船名を変更し、2隻同時建造体制を組むことになりました。

当時事業部長だった私は現場指揮者と綿密に打ち合わせながら、約4,000人の職人



8 6



1.船舶用の家具を製造している長崎工場。船舶用の家具は船が揺れる為、家具を壁や床に固定する必要があり、通常の家具とは造りが異なる／2.3.建具製造風景／4.5.フェリー「さんふらわあ」（設計・施工）／6.フェリー「万葉」（デザイン・設計・施工）／7.コンテナ船「EVERLIVING」（デザイン・設計・施工）／8.企業メッセージ



前列左4番目から帯田副社長、秋吉社長、森頭取、山口本店営業部長(十八銀行)、坂田専務、
後列左3番目から木田執行役員、内野監査役、峰常務、松浦取締役、桑原取締役、松尾常務、内野専務、井上執行役員

と作業員を全国から集め、1年7か月後、計画通りに復旧させることが出来ました。NSS社員のプライドと社運を賭けたプロジェクトだったと思います。

「武蔵」にあこがれ「天職」授かる

私は1971年に当社に入社しました。小学生のころから日本海軍の艦艇が大好きで、特に世界最大の戦艦「武蔵」(基準排水量6万5,000トン)のことは徹底的に調べ、建造された三菱重工長崎の船台の見学にも行ったほです。学生時代、福岡の造船所でアルバイトした際には、そのまま就職するよう強くお誘いいただきましたが、かつて「武蔵」を建造した船台が間近に見られる長崎の当社を迷わずに志望しました。

入社一週間後に瀬戸内海の営業所にて勤務し、内装工事現場で溶接作業の一から鍛えられ、この仕事の厳しさと面白さを肌で感じ、社業に全力投球するようになりました。大分営業所時代は戦史研究の一貫として太平洋戦争の生き残りの方々から貴重な戦争体験の聞き取りをしましたが、そのことが仕事の面



1.長崎工場で説明を受ける様子／2.長崎工場の見学風景

でも役に立ちました。NSSは私にとって「天職」だったと思っています。

お客様目線で仕事を見直す

事業を伸ばすためには「提案力」が大事です。コストダウンだけの発想では、お客様の満足はいただけません。そのため、社員には「いろんな船に乗って、お客様目線で船内空間をチェックするように」と話をし、早速若い社員を客として海外の客船や国内のフェリーを中心に乗船させ、細部にわたって利用する立場での調査を行っています。

3年前、三菱重工下関造船所で建造した「おがさわら丸」（1万1,000トン、乗客定員894人）に乗り、太平洋戦争の決戦の地となった硫黄島の船上慰霊祭に参加しました。太平洋の荒波に揺られながら、船内の設備や使い勝手を一乗客としてチェックすると、改善点が60か所も見つかり、「今後の大型フェリーなどの設計などに生かせる」と痛感しました。

昨年、創立75周年を迎え、若い社員から「25年後のNSSの姿を社長はどう描いているのか知りたい」と要望があり、今年4月、全国30か所の事業拠点を任せる所長ら100人以上を集め、社長訓話として将来像を語りました。

25年後に造船業界はどうなっているのか、人口は、物流は、無人化・ドローンなど技術革新はどう進むか、そこでNSSはどんなポジションにあり、どんな評価を得ているのか、さらに陸上での新たな事業の目処など、課題と目標を示しました。客船の内装などは海外の企業に学ぶものがまだありますが、いずれその技術や製品をしのぐものを開発し、NSSの社員がヨーロッパに出向いて客船を造る時が来る日も近いと考えています。

■ インタビューを終えて

十八銀行 取締役頭取 森 拓二郎



長崎県の産業を担う造船業界で、創業以来75年にわたって船舶居住区の内装に携わり、この分野で日本のリーディングカンパニーとしての地位を築き上げてこられました。かつて日本のお家芸であった造船が苦境にある現在、国内はもとより、海外にも目を向け、積極果敢な事業展開を図っておられます。

百年企業を目指し、本業での技術開発や顧客開拓のほか、陸上部門でも高い技術力を生かした空間づくりをされ、さらに地場経済の活性化に貢献されることを期待しています。



熊本県

TAMANA CITY

玉名市



玉名の夜に咲く大輪の花 「玉名納涼花火大会」

県内外から毎年多くのファンが集う、玉名の夏を代表する「玉名納涼花火大会」。

菊池川を挟んで間近に見上げる、絶好のロケーションで観覧することができ、大迫力で幻想的な空間に思わず惹きこまれます。2019年は8月2日（金）開催予定。

（毎年8月第1金曜日に開催）

人と自然が輝き、やさしさと
笑顔にあふれるまち 玉名

玉名市は熊本県北西部に位置し2005年（平成17年）10月、玉名地域1市3町（玉名市・岱明町・横島町・天水町）が合併し、新生「玉名市」として誕生。人口は現在約6万6千人。南北17km・東西14.5km。市域面積152km²。中央に一級河川菊池川が流れ、南部は有明海に面する田園都市。豊かな自然や数多くの歴史的資源に恵まれています。

産業面では米やミカン・イチゴ・トマト等の農産物や、ノリ・アサリ等の水産物の生産が盛ん。観光拠点として市街地北部、小岱山^{しょうたいさん}の麓には1300余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉、かわつて市南部の有明海を臨むみかん園の丘には文豪・夏目漱石の名作「草枕」の舞台で知られる小天温泉^{おあま}を有しています。

また、熊本県北の玄関口である九州新幹線新玉名駅を擁する当市は博多まで40分、鹿児島まで1時間、大阪までを3時間半で結ばれ、関西圏が日帰りできるエリアであるほか、九州自動車道、J・R鹿児島本線、有明フェリーなど多様な交通インフラと併せ交通の要衝として、地理的利便性は非常に高いものとなっております。日本





遺産「菊池川流域」や温泉、四季折々の観光
スポットを基軸に、観光振興始め県北各都市への
広域観光周遊ルートの形成・開発等、「熊本県北
の拠点都市」として総合的な発展が大いに期待
されています。 寄稿…玉名市



玉名大俵まつり 2019年11月23日（土・祝）開催

ようこそ、玉名へ

玉名観光ではすせないのが、「湯めぐり」。市内には、長者伝説の湯 玉名温泉、夏目漱石の代表作『草枕』の舞台となった小天温泉（玉名市天水町）があります。あなたも漱石になった気持ちで玉名を楽しんでみませんか。お腹がすいたら「玉名ラーメン」はいかがでしょう。熊本ラーメンのルーツと言われ、濃厚な豚骨スープと焦がしにんにくの香りが特徴。この味に魅せられた人は数知れません。



蓮華院誕生寺奥之院（世界一の大梵鐘・五重塔）



玉名市公式
観光案内サイト
「タマてバコ」



夏目漱石



玉名ラーメン



玉名市マスコット
「タマにゃん」



小天温泉（草枕温泉てんすい）



玉名温泉（立願寺公園 しらさぎの足湯）



オリンピック・ストックホルム大会入場行進 (1912年)

「韋駄天」と呼ばれた 伝説のランナー

2019年大河ドラマの主人公のひとりである金栗四三は、玉名郡春富村(旧三加和町、現和水町)出身で玉名市の名誉市民です。四三は、吉地尋常小学校(現和水町)を卒業したあと、10歳で玉名北高等学校(現南関町)に入学し、往復12kmの道のりを、毎日走って通学していました。その後、玉名中学校(現玉名高校)に進学し、クラスで1、2番の優秀な成績で特待生として授業料免除を受けたほどの頭脳の持ち主でした。

金栗四三



オリンピック・ストックホルム大会出場後、ユニフォーム姿 (1912年)

そんな四三がマラソン競技と出会ったのは1910年(明治43年)、東京高等師範学校(現筑波大学)でのことです。講道館柔道の嘉納治五郎に才能を見出され、日本のオリンピック初参加に向けた国内予選会で2時間32分45秒という当時の世界記録を27分も縮める大記録を残しました。そして早くも2年後には、日本で初めてのオリンピック選手としてストックホルム大会に出場し、日本全国から注目を浴びました。

「消えたオリンピック走者」

ストックホルム大会のマラソン競技当日は猛暑で、なんとマラソン選手68人のうち34人がリタイアする過酷なレースとなり、金栗四三も日射病やコンディションの悪さにより、26.7km地点でコースを外れたまま暫く戻ることができず、行方不明扱いとなつてしまいました。このことで四三は、ストックホルムにおいて「消えたオリンピック走者」として語られることとなりました。

しかし、1967年(昭和42年)、75歳のときにスウェーデン五輪委員会から、55年前に果たせなかった四三のゴールインが計画された55周年記念行事への招待を受け、会場の大きな拍手に包まれ、四三は「54年と8ヵ月6日5時間32分30秒3」のタイムで、第5回ストックホルム五輪のゴールを果たしました。この記録は、世界で最も遅いマラソン記録として語られています。

金栗四三のふるさと玉名

青春時代と後半生の約50年を当市で暮らした金栗四三の魅力为全国に広め、また多くの方々に来訪していただけるよう、熊本県内外でのPR活動や来訪者の受け入れを推進し、市内には住家やお墓、遺品を収蔵・展示する歴史博物館やドラマ館など、観光スポットが充実しています。

今年は、大河ドラマを契機として当市の魅力を全国に発信し、地域の活性化に繋げる「玉名市飛躍の元年」として邁進していきます。



55年越しのゴール(1967年)

写真:玉名市提供



住家写真



案内をされる地元の方々

金栗四三の 住家・資料館

金栗四三が晩年を過ごした築120年の家。内部を玄関や縁側から見学できます。隠居部屋として建てられた離れは金栗四三資料館となっており、ここで見学することのできない写真や遺品が展示されています。また、近くには妻スヤや養母幾江など家族と眠るお墓があり、金栗の格言「体力・気力・努力」の文字が刻まれた記念碑も建っています。小田地区金栗四三PR推進部会の方々による案内もあり、地元ならではのエピソードも聞けると好評です。

金栗四三のエピソードにまつわる 「4×3LEMONADE」

金栗四三が1912年にストックホルムでのマラソン競技中に猛暑のためリタイアした際、現地の方から介抱され振る舞われたとされる「ラズベリーのレモネード」。このエピソードをヒントに、金栗四三ゆかりの地である玉名市、和水町、南関町の代表的なフルーツ4種（みかん、いちご、巨峰、キウイフルーツ）を主とする地元の特産品を使用した「4×3LEMONADE（よんさんれもねーど）」が販売されています。

金栗四三のエピソードに触れ、同氏ゆかりの地の特産品を味わい、各店舗で工夫を凝らした「4×3LEMONADE」をご賞味ください。



地域の店舗が連携。店舗ごとにオリジナルレモネードを提供しています。



4×3レモネードが
飲めるお店は
コチラから！



り
の
地
の
特
産
品
を
味
わ
い
、
各
店
舗
で
工
夫
を
凝
ら
し
た
「
4
×
3
L
E
M
O
N
A
D
E
」
を
ご
賞
味
く
だ
さ
い
。



「いだてん 大河ドラマ館」…2020年1月13日まで開館中。金栗氏の偉大な功績や人柄を紹介。ロケのメイキング映像のほか、出演者の衣装等も展示。ドラマの進行にあわせ一部展示内容も変わります。



「玉名市立歴史博物館ころもピア」…企画展「金栗四三展 とつむにゃー展示ばい!」開催中。2020年1月13日まで金栗氏の資料約1,000点を3期に分けて展示。

いだてん 大河ドラマ館、玉名温泉、金栗四三ゆかりの地である小田地区（金栗四三の住家・お墓）、玉名市立歴史博物館ころもピア、などを巡ります。この機会に「日本マラソンの父」金栗四三の足跡をたどってみませんか。

金栗四三ゆかりの地を巡る
無料シャトルバス
「金栗四三周遊バス」
が運行！





金栗四三が使用した足袋(裏には「金栗たび」と「ハリマヤ」の刻印)



再現されたランニング足袋 KANAKURI(ふるさと納税返礼品)



ふるさと納税による まちづくり

当市は現在、移住定住・地域公共交通・情報発信(広報)などの地域活性化・魅力発信の業務を推進する中、ふるさと納税の業務にも注力し、地域の活力を創造すべく受入額増加に向けた施策に積極的に取り組んでいます。

返礼品の種類の大幅な増加や複数のポータルサイトの活用など、寄附者の利便性の向上を推進。また、当市は日本マラソンの父・金栗四三のふるさととして、寄附金の使い道のメニューに「マラソンによるまちづくり」を設けています。

そして、注目すべきは、金栗四三とマラソンに関連した返礼品。その1つ目は、ランニング用足袋「KANAKURI」。金栗四三はオリンピックや数々のレースを足袋で走り、日本マラソン界の礎を築きました。その足袋に着目し、走りのスペシャリストの独創的発想と足袋職人の伝統的な技を融合し、限りなく再現されたこだわりの逸品です。2つ目は、当市に新たに創設されるフルマラソン大会のエントリー権。いずれも当市ふるさと納税の寄附金返戻品の目玉としてあります。

「日本マラソンの父」のふるさとに 待望のフルマラソン大会、遂に誕生!

日本人初のオリンピック選手、箱根駅伝の創設者としても広く知られる金栗四三。当市名誉市民でもある彼が主人公として活躍する2019年大河ドラマ「いだてん」の放送を機に、当市はこの感動と彼の偉業・功績を末永く後世に伝えるため、彼にちなんだフルマラソン大会を新しく創設。その名は「玉名いだてんマラソン」。名称を全国から公募し、874件もの応募作品の中から選ばれました。

熊本県北初のフルマラソンとなるこの大会は、広大な横島干拓の田園風景を中心に、有明海沿岸から菊池川下流域沿いを巡る平坦なコースが特徴で、走りやすく記録も出やすくなっています。

金栗四三のスポーツに対する思いとチャレンジスピリットを直系で受け継ぐこの「玉名いだてんマラソン」。全国から多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。



福岡県

MIYAMA CITY

みやま市

福岡県

みやま市

清水公園

所 福岡県みやま市瀬高町本吉
TEL: 0944-64-1523 (市商工観光課)
アクセス: 九州自動車道
みやま柳川ICより車で5分

清水公園から望む筑後平野

しあわせつくる

晴れのまち みやま

みやま市は、福岡県の南部に位置し、
2007年に瀬高町・高田町・山川町
の3町が合併して誕生した市です。

福岡を代表する穀倉地帯・筑後平野
で育てられる米・野菜・果物を中心とした
農業を基幹産業としています。西日本一
の出荷量を誇る「セロリ」や、甘くておいし
い「山川みかん」、県下一の収穫量を誇る
「なす」など、都市圏からも注目される
生産地です。それらの作物を販売する
「道の駅みやま」は、県内でも上位の人気
を誇ります。

また、日本の地方で進む過疎化・高齢
化に対して、持続可能な循環型社会の
構築による解決を目指しています。

寄稿…みやま市

挑戦

再生可能エネルギーを通じて環境を保全しながら、ICTを活用して地域を活性化させる一連のまちづくり。みやま市は、持続可能な循環型社会を目指して、資源の地産地消を推進しています。

大規模メガソーラー

電力の地産地消

2016年の電力の自由化（小売り）を背景に、みやま市は日本の平均を上回る年間日照量の多さに着目し、太陽光発電による電力の地産地消事業に取り組んでいます。

2013年の大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の整備を足掛かりに、2014年からは、国の「大規模HEMS（※）情報基盤整備事業」への参加など「エネルギーの地産地消都市みやま」を実現させる準備を行ってきました。

そのコンセプトを実現させるべく2015年3月に、全国で初めて自治体が出資する家庭向け電力売買事業会社「みやまスマートエネルギー株式会社」を立ち上げました。

地域で生まれた太陽光電力を買い取って販売する。そこで生まれた利益を、ICT等を活用した生活支援サービス事業として地域に還元しています。

また、公共施設への「太陽光無償設置プロジェクト」を活用し、災害時にも無料で電源を使用できるよう、市庁舎や図書館などへの太陽光パネルの設置を進めています。

※「HEMS」…ホームエネルギー・マネジメントシステム 家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム



再生エネルギー循環のサイクルが先駆的なまちづくりとして、2015グッドデザイン金賞を受賞



持続可能な循環型社会への

生ごみの資源化

2014年に九州初のバイオマス産業都市の認定を受け、生ごみ・し尿・浄化槽汚泥から電気と肥料を生み出すバイオマスセンター「ルフラン」が2018年12月に完成しました。これまで、廃棄物として処分していた生ごみ等を電気や肥料として再利用することで、焼却施設建設費やごみ処理コストの削減、循環型農業の促進、雇用の創出などにつながっています。この地産地消の取り組みにあたっては、住民に生ごみを分別してもらう必要があります。

住民にみやま市の将来に向けた取り組みを理解し、協力してもらうために、市内全域200ヶ所で職員による住民説明会を行いました。その結果、2019年4月には1ヶ月あたり134トンの生ごみが当施設で資源化されています。

また、このバイオマスセンターは、児童数減少のために廃校となった小学校のグラウンド跡地に建設しました。旧校舎は、一部を改装して食品加工室、シェアオフィス、チャレンジカフェとして、地域のにぎわいをつくる施設として生まれ変わりました。



「ルフラン」で開催されたマルシェ



生ごみ説明会



バイオマスセンター「ルフラン」



資源循環の環



みやま市の 特産品



セロリ

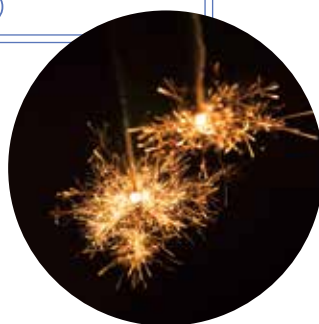
(出荷時期:11月中旬～6月)

西日本一の出荷量を誇り、日本三大産地の一つに数えられます。「道の駅みやま」では、1株まるごとのセロリを購入することができ、多くの方がセロリを求めてお越しになります。

国産線香花火

(筒井時正玩具花火製造所)

日本で2社を残すのみとなった線香花火の製造所。その1つが、みやま市にある筒井時正玩具花火製造所です。従来の線香花火に加えて、様々な形・用途の玩具花火を生み出す製造所は、国内はもちろん海外から訪れる方もいます。オリジナル線香花火づくりのワークショップも開催されています。



高菜漬け

日本有数の高菜の産地であるみやま市では、高菜漬けの生産も盛んに行われています。各メーカーが工夫を凝らした高菜漬けを開発しており、様々な味を楽しむことができます。



みかん (出荷時期:9月～3月)

甘くておいしいと評判のみやま市産のみかん。「山川みかん」に代表されるみやま市のみかんは、年間約6,500トンを生産しています。時期によって変わる品種ごとの味わいを比べてみてはいかがでしょうか。



九州オルレ みやま・清水山 コース

豊かな自然を後世に残す。
新しい形のトレッキングコース。

九州オルレとは、韓国・チジュ島で始まったソフトトレッキング「オルレ」の九州版です。現在、九州には21のオルレコースがあり、東北・宮城県にも2コースあります。全長約10キロのコースには、リボンや矢印の目印があり、トレッキング初心者でも迷わず歩くことができます。

みやま・清水山コースには、竹林の遊歩道や展望台からの眺望、清水寺の史跡など多くの見どころがあり、愛好者からも人気のコースです。歩いた後は、ゴールの「道の駅みやま」で休憩・お買い物ができることも利用者に喜ばれています。

2

清水寺三重塔



1

みやま・清水山コースの
人気スポット＝神宿る竹林



みやま・清水山コースルートマップ

4

道の駅みやま(ゴール)



道の駅みやま

みやまの“旬”が集まる場所として、市内外から多くの方が訪れる道の駅。採れたて新鮮な野菜や果物を豊富に取り揃えています。併設するフードコートでは、地元産の食材を使った様々な食事が楽しめます。

所 福岡県みやま市瀬高町大江2328

TEL: 0944-67-6477

営 9:00~18:00 休 1/1~1/4

3

田園風景





FILE No.57

九州の「地域の特産品」をご紹介します。

ぐるぐる



熊本の郷土料理の馬刺し、からし蓮根に並び代表されるのが「一文字ぐるぐる」。

熊本では木芋の一種である分葱が「ひとこぎ」と呼ばれています。江戸時代、財政難であった熊本藩の倭約令をきっかけに、手に入りやすい木芋を使った料理として生まれました。

分葱をさつと茹で氷水にくぐらせ、根元を軸に葉の部分を二本一本半巻きで、ぐるぐる巻きつけたものを酢味噌につけていただく料理で熊本県民に親しまれています。甘酸っぱい酢味噌をつけた分葱の食感と独特の香り、甘味と辛味が口の中にひろがり、熊本のお酒と一緒に味わいたい逸品です。

地域と
共生する
FFG

古くから伝わる熊本の味

一文家



Dalian Representative Office

大連駐在員報告



中国建国70周年、 及び大連の現状について

はじめに

今から70年前の1949年10月1日に現在の中国共産党は建国宣言をしました。大躍進運動、文化大革命等を経て、1980年代、大連を含む14都市に国家レベルの経済技術開発区が設置され、優遇税制や安価で豊富な労働力を武器に外資企業を誘致し、「世界の工場」として世界経済を牽引してきました。その中で先進国の技術導入や模倣を推進し、技術力は急速な発展を遂げましたが、人件費上昇や単純労働従事者の減少、従来の輸出主導型の行きつまり等の問題もあり、現在、経済成長の効率性を重視する「新常态経済」(※)へと産業構造の転換と高度化を図っています。

※「新常态経済」

中国政府が、高度成長から中高速成長に移行した中国経済の姿を表現した言葉。

大連地区の

歴史・特徴について

大連の歴史は浅く、清朝時代の1880年代、漁村だった地区に砲台を築き都市が形成されたそうです。日清戦争(1894年)の後、日本に割譲され三国干渉を経てロシアが治めていました。東清鉄道を設け、終着駅「ダルニー」(「遠い」)からDAILIANと呼ばれるようになったこの事です。日露戦争(1904年)以降、日本が治めるようになった大連には満鉄、旧三越、旧小野田セメント等、日系企業が多数進出していました。当時の建造物等は現在も利用されています。満鉄大連病院は大連大学付属中山医院、旧三越は秋林女店という百貨店、大広場(ニコライエフスカヤ広場)は中山広場として現存しています。

◆図1【大連基本情報比較(2006年、2018年)】

	2006年	2018年
人口	572万人	595万人
面積	12,573km ²	12,573km ²
GDP	2,570億元	7,669億元
1人あたりGDP	38,155元	105,387元
平均給与	1,822元	6,824元
日本商工会加盟社数	約660社	約760社
在留邦人数	3,145人	4,840人

(出所)大連市統計局、人力資源和社会保障局、外務省、大連日本商工会

大連は、主に重化学工業で中国経済を牽引しました。その後、1984年に国家級の経済技術開発区を設置、1993年から2000年まで市長・書記を務めた薄熙来氏時代に、日系企業誘致政策で発展に拍車がかかりました。2006年、国家統計局が発表した中国都市総合実力ランキングでも6位につけ、日系企業とともに発展した都市としても有名でした。そのため大連市内中心部居住者



の約10%が日系企業で働いており、日本語人材が豊富な都市としても有名です。現在も大連に進出している日系企業数は上海、バンコクに次ぎ世界で3番目となっています。(図1)

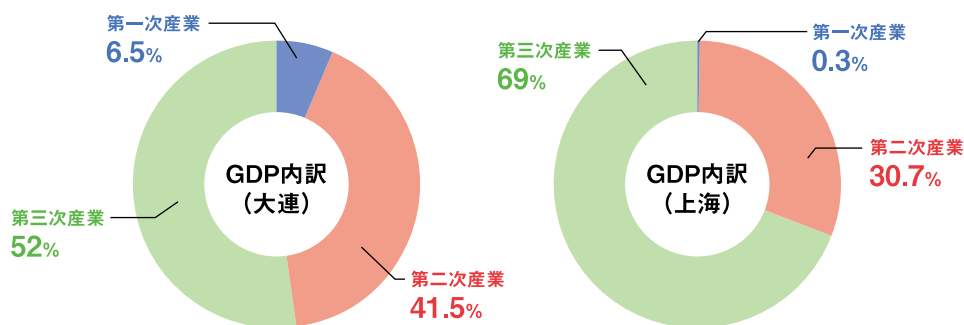
また、大連市は北九州市と友好都市の関係にあります。大連市の水道事業や環境事業において、北九州市の貢献度が高いこともあり、非常に良好な関係を維持しています。

一方、ここ数年は、経済成長力にかつての勢いがなくなっているといえます。要因は色々あると思いますが、遼東半島の先端に位置するため輸出加工型から内販型への切り替えに不利な点、多くの国有重化学工業が経済を牽引してきた為、第三次産業の成長が中国華東地区、華南地区等に比べ、スムーズでなかった点等も挙げられています。(図2)(図3)

◆図2【大連地図(九州からの位置関係)】



◆図3【大連・上海のGDP内訳(2018年)】



(出所) 大連市統計局、上海市統計局

最近の大連情報

(1) 中央政府による環境保護調査

2015年以降、中国における環境保護政策は厳格化が進んでいます。大連にも2017年、2018年、中央政府による環境保護調査が入りました。大きく分類すると「大気」「水」「土壌」となりますが、大連では、特に「メッキ加工」で排出される汚水に対する重点監査が行われました。日系、欧米系、中国系企業を問わず、2018年末までに、約2万5千件を取り扱い、約90社を生産停止、約2千社に業務改善命令、計約2億円の罰金徴収となりました。本件を機に、現地日系メッキ加工企業も清算・持分譲渡という形で撤退したケースを耳にします。大連市政府は大連市中心部から北に車で2時間程度のところに「メッキ園區」を造り移転を推奨していますが、具体的な

スケジュール等は示されず、一部工程にメッキ加工がある現地日系企業等は様子見段階といった状況です。

(2) 現地日系企業の状況

本件に関しては、正確なデータがなく、現地日系企業へのヒアリングベースとなりますが、業況に関しては濃淡はあるものの、2013年前後と比較すると回復していると回答する企業が増加しています。自動車関連、工作機械関連、建設機械関連、産業用ロボット関連、モーター関連等、中国国内向けは比較的好調です。またアメリカ向け輸出に関しても、米中貿易摩擦までに一段落していた企業が多く、現在のところは影響は少ないと回答する企業が多いです。ただ、今後については米中貿易摩擦がマイナス要因である事により変わらなく様子を見ながら舵取りをしていくという意見が多数です。中国人現地従業員

に関しては、上海近郊や広州近郊のように春節（旧正月）後、故郷から戻つてこないというケースは非常に少なく、給与上昇率も他地区と比べ安定的で、現状に満足している従業員が多いとの事で、業務計画を立てやすい状況との意見が多いです。

撤退に関しては、落ち着きを取り戻しつつあるとの意見が多いです。中国政府は2008年より2免3減制度などの優遇政策を原則として廃止、企業所得税を原則として25%へ統一する（製造業15%、サービス業33%）等の法改正をしました。現地日系製造企業にとっては、優遇税制、有利な法人税率、安価で豊富な労働力というメリットが薄れる中、リーマンショック等も追い打ちをかけ、製造工場の移転や集約、規模縮小等の判断、サプライヤーとともに撤退するという構図がありました。

進出に関しては、電気自動車向け

リチウムイオン電池製造企業及びサプライヤー、自動車関連サプライヤー、環境関連製造企業及びサプライヤー等、中国政府が求める業種が特に目立っています。

(3) 日系企業の製造・設計・ソフトウェア開発委託先としての再評価

最近では、中国に現地法人を保有しない日系企業も、大連の現地企業に製造・設計・ソフトウェア開発を委託するケースが増えています。要因としては、日系企業誘致で発展した経緯もあり、日系企業が求める技術を持つ企業が多い事、日本語人材が豊富である事、日本人との業務遂行に慣れている事等数多くあります。実際に日系アパレルメーカーでは、標準品は山東省の協力工場、ひと手間かかるワンランク上の製品は大連の協力工場で製造するよう明確に区別しています。



BPO産業は、豊富な日本語人材と理系人材に支えられ、国家級ハイテクパーク内にあるGEやデル、オムロンやアルパイン等多くの外資系企業がコールセンターなどを保有しています。また、BPO産業の中でも日本向け各種ソフトウェア開発では8割を大連でプログラミングし、最初と最後の2割を日本で完成させている非常にレベルの高い状況です。日本向けの設計でも日系企業が要求する機器を活用してレベルの高い工程作業が可能な状況です。

2006年と2018年の 大連経済の動向及び 市民生活の変化

私事ですが、2006年から2008年まで、北九州市大連事務所に派遣され、初めて大連に駐在し、次に2015年の秋より現在に至り

ます。現在、日本のニュースでは大連の経済停滞が強調されています。個人の感覚でも、2006年当時の方が、中国における経済都市としての力があつたと感じていました。実際に、2006年当時は、上海近郊、広州近郊の都市が駐大連の地方自治体や銀行を訪問し、日系企業誘致に注力していた記憶があります。確かに、上海や深圳、中央政府の後押しがある中西部の都市と比べると、満足のいく状況ではありませんが、各項目の統計データを見返すと、大連もしっかり伸びている事を再認識した次第です。特に、ソフトウェア開発に関しては、中国でも屈指のレベルに達しており、大連ハイテクパーク内の外資系企業・中国企業に勤務している中国人理系人材のレベルには目を見張るものがあります。(図4)

市民生活に目を向けると、一番変化を感じる事が、スマートフォンの急

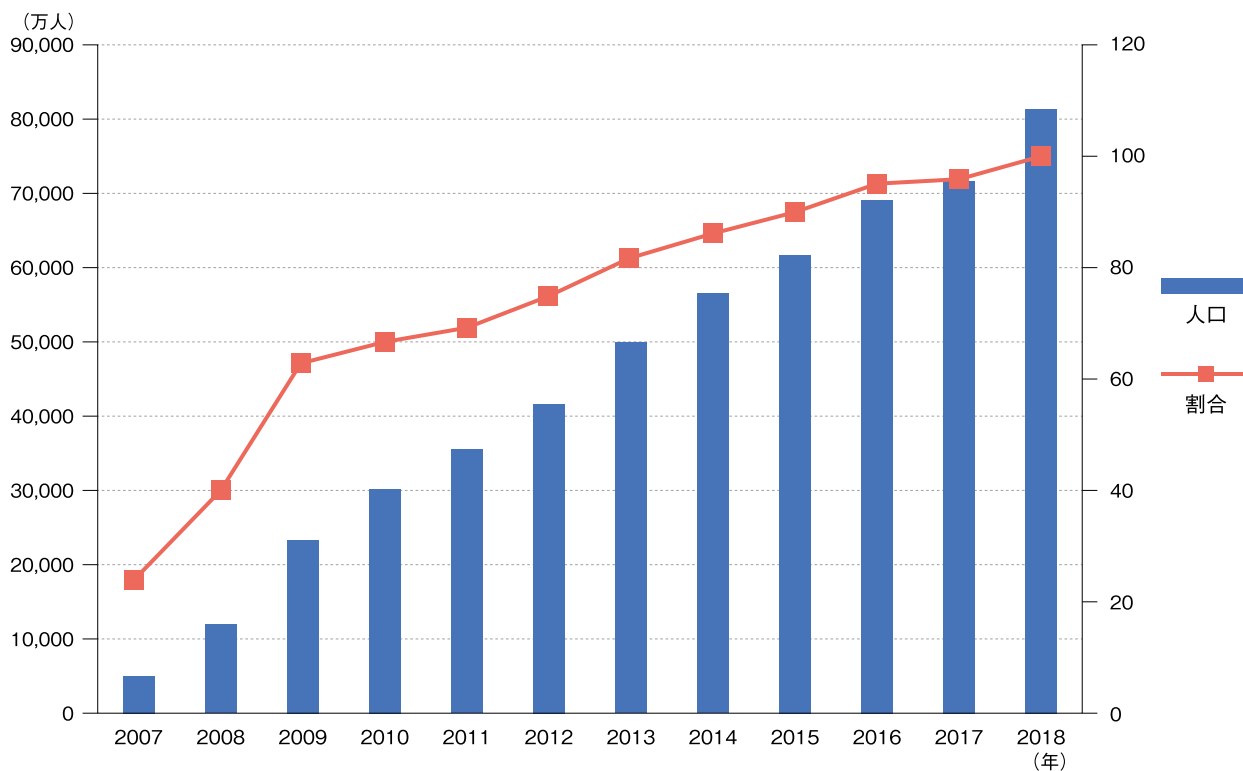
◆図4 【各都市主要データ比較(2018年、2006年)】

		GDP(億元)		人口(万人)		月社会平均給与(元)		年可処分所得(都市部) (元)		年可処分所得(農村部) (元)	
		2018年	2006年	2018年	2006年	2018年	2006年	2018年	2006年	2018年	2006年
北部	大連	7,669	2,570	595	572	6,824	1,822	43,550	13,350	18,103	6,984
	北京	30,320	7,720	1,390	1,198	8,767	3,008	62,361	19,978	調整中	8,620
華東	上海	32,680	10,297	1,448	1,368	7,132	2,235	68,034	20,668	30,375	9,213
	南京	12,820	2,774	844	607	6,645	2,445	59,308	17,538	25,263	7,045
	寧波	10,746	2,864	603	560	5,465	2,123	60,134	19,674	33,633	8,847
華南	広州	22,859	6,068	928	970	8,218	2,182	59,982	19,851	26,020	7,788
	佛山	9,936	2,927	791	585	6,652	2,101	49,630	18,894	28,765	8,224
中西部	武漢	14,847	2,590	884	818	6,640	1,820	47,359	12,359	22,652	4,748
	成都	15,343	2,750	1,476	1,103	5,969	1,608	42,128	12,789	22,135	4,905

(出所) 大連市国民経済和社会发展統計公報、大連市統計局、各都市統計局、人力資源和社会保障局

速な普及です。2006年当時、連絡手段としては、携帯電話かショートメール、電子メールが主流だったのですが、現在は大多数の人がスマートフォンにテラセント社の「ウィーチャット」というアプリを入れ、ラインやフェイスブック、ツイッターの役割を果たしています。また同時に、現在はキャッシュレス化も急速に浸透し、現金を持ち歩かない生活です。中国では元々、偽札や紙幣の劣化等が問題になっていた事、個人情報情報の取扱に対する壁が低い事などもあり、スマートフォンQRコード決済「ウィーチャットペイ」等が浸透したようです。そのため、紙幣やコインが利用の弊害となっていた自動販売機需要がスマートフォンQRコード決済になり急増し、大連でも日系自動販売機製造企業が工場を増築し対応している状況です。(図5)

◆図5【中国スマートフォン人口及びインターネット総人口に占める割合】



(出所)CNNIC 中国インターネット発展状況統計調査

次にマナーの飛躍的向上も感じます。以前はリープフロッグ(かえる跳び現象)とも言える、社会インフラ・サービスが未整備のまま、段階的な道筋なく一気に先進国の最新技術やサービス等を導入普及したこともあり、車の運転マナーや、タバコのポイ捨て等は1970年代の日本と同様だったと言われていました。改善要因は色々ありますが、所得向上に伴う海外旅行での体験やスマートフォン経由でのインターネット普及により、各種マナーのグローバルスタンダードが加速度的に浸透したと感じます。



今後の展望

2018年1月に習近平主席に近いられたという譚作鈞氏が大連市書記に就任、同年11月には譚成旭氏が市長に就任し、大連市政府は「深耕日本」のかけ声の下、急速に日本との経済関係協力強化を推進しています。

2018年12月7日に開催された日中平和友好条約40周年記念レセプションでも、中国の各都市でレセプションを開催し、書記や市長が列席したのは大連市のみと司会者の方が言われていました。

大連には、日系企業にとって大きなアドバンテージが残っています。改

◆図6【日本語能力試験1級受験者数(2017年)】

順位	都市	受験者数(人)
—	中国大陸計	78,382
1	広州	8,919
2	上海	8,426
3	大連	6,175
4	北京	6,126
5	武漢	3,979
6	南京	3,490
7	杭州	3,290
8	西安	2,692
9	天津	2,504
10	長沙	2,445
13	瀋陽	2,057
16	長春	1,586
18	ハルビン	1,443
39	延吉	236

(出所)JETRO

革開放後の日本企業誘致政策で日系企業の技術要求に匹敵する技術力を持ったサプライヤーが多い事、日本人との仕事に慣れている事、大連市政府のサポートが大きい事、設計・システム開発のBPO基地として中国有数な事、都市レベルの割に賃金上昇率は他都市より小さい事、理系日本語人材が豊富(難関大学、一般大学問わず)な事等より、「日系企業にとってワンランク上の製造・設計ソフトウェア開発委託先」「日本での就職を希望する一般大学の理系・日本語人材の活用」が、日本の人材不足の打開策にも成り得る状況だと思えます。(図6)

最後に

福岡銀行大連駐在員事務所は1995年開所後、今年で24年となります。現地で培った大連市政府や

中国企業、北九州市大連事務所や多くの現地日系企業とのネットワークを活かし、情報収集、市場調査、ビジネスマッチング等、様々なサポートを提供して参ります。

また、大連の他、上海、香港、バンコク、シンガポール、台北、ホーチミン、ニューヨークと8つの海外拠点を有していますので、海外ビジネスを御検討する際は、ふくおかフィナンシャルグループ各行(福岡銀行、熊本銀行、親和銀行、十八銀行)へお気軽にお問い合わせ頂ければ幸いです。

(大連駐在員事務所 長田修二)



福岡銀行大連駐在員事務所
(左から長田修一 所長、スタッフ・杜)



寄稿

三菱総合研究所

MONTHLY REVIEW

AUGUST.2019

Content

1

【施設運営】

民間の知恵で
公共施設に新しい価値を

2

【高齢社会】

認知症予防に有効な
社会参加システム

3

【ヘルスケア】

栄養表示の義務化がもたらす
新たな食・健康ビジネス

4

【国際】

G20を支える
専門家集団の存在

5

【競争力】

AI・ロボット普及は
日本に生産性改革を促すか

【施設運営】

1

民間の知恵で 公共施設に新しい価値を

次世代インフラ事業本部 福田 泰三

Point

- 有明アリーナを契機にコンセッションの活用推進に対する期待感が向上。
- 収益の再投資により公共施設に新たな価値を創出。
- 「にぎわい形成」や「新たな体験」も新たな公的価値だという発想の転換を。

2019年3月、国内アリーナ初のコンセッションとして注目される東京都の有明アリーナ管理運営事業の運営権者候補者が選定された。コンセッションは、公共施設の所有権を公共主体に残したまま施設の運営権を民間事業者を設定することにより、料金設定や更新投資も含め自由度の高い施設経営を可能とする管理運営方式である。公共施設の管理運営を民間事業者が行う主要な仕組みとして指定管理者制度とコンセッションがあるが、公共性の高いサービスの事業代行にとどまらず、民間視点

による自由度の高い施設経営によって収益拡大を図るにはコンセッションが有効とされている。政府もコンセッションの活用を推進しており、有明アリーナを文教施設分野の先進事例として案件増加への期待が高まっている。

しかし、コンセッションの後続案件がなかなか出てこない実情もある。公共施設には地方自治法に規定される「公の施設」の考え方があり、誰もが平等に利用できる公共性が求められてきた。施設経営の自由度の高まりが営利主義につながり、ひいては公共性を損なうと考える自治体も多いことが、検討が進まない一因である。

有明アリーナの場合、単なる箱貸しによる受け身の施設運営ではなく、民間事業者が有する国内外のネットワークを活かし、スポーツの国際大会やトップア티ストの公演など質の高いコンテンツを誘致・編成することで稼働率と収益性を高め、地域ににぎわいをもたらすことができる。また、継続的なIT投資により、大型ビジョンによるデジタル演出など最新鋭の観戦環境や、施設と来場者をつなぐアプリを活用したさまざまなサービスの提供など、快適で便利な利用者サービスをつくり出すことも期待されている。

このような「攻めの公共施設」はコンセッションのメリットを最大限に活かすことで実現できる。「にぎわいの形成」は社会経済への好影響を生む。大型ビジョンやアプリなどを駆使した「新たな体験」は利用者満足度の向上につながる。自治体には、このような社会的・文化的インパクトも、公共施設が新たに創出する公的価値だという発想の転換が必要だろう。

[図] 有明アリーナで提案された最先端スマートアリーナのイメージ



エントランスの大型ビジョン(イメージ)

出所：運営権者候補者の提案概要(東京都オリンピック・パラリンピック準備局)

【高齢社会】

認知症予防に有効な
社会参加システム

未来構想センター 川崎 祐史

Point

- 認知症の根本的な治療が可能となるのは20～30年後と思われる。
- 当面は予防強化が現実的であり、高齢者の社会参加が有効との統計あり。
- コーディネーターと社会参加促進のバーチャルな仕組みが不可欠。

すでに世界最多の水準(※1)にある日本の認知症患者数は2025年に約700万人と、65歳以上人口の5分の1に達する見込みだ(※2)。対策は待ったなしである。しかし、認知症で最も患者が多いアルツハイマー型の治療薬開発はここ数年、臨床試験で薬効が確認できず中止が相次いでいる。認知症の根本的な治療が可能となるのは20～30年後と思われる。

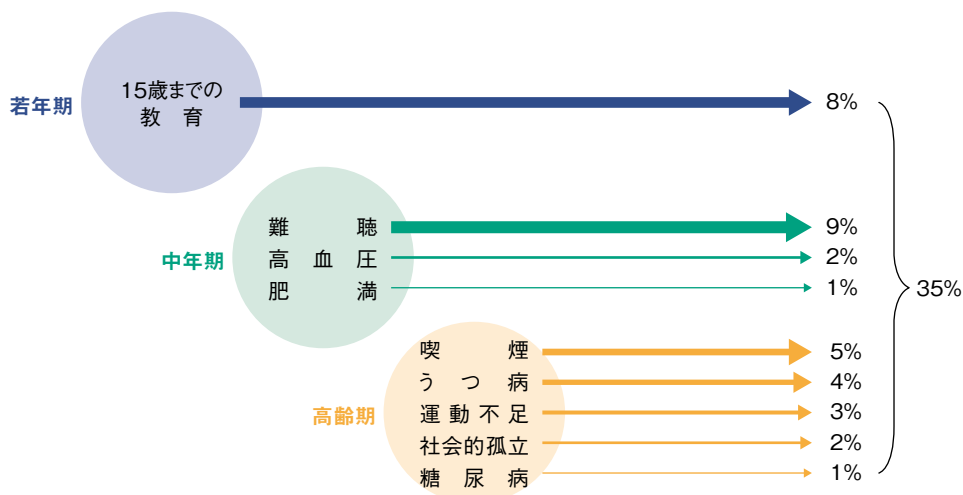
当面は、予防の強化に努めることが現実的な策と考えられる。そうした中、発症リスクを高める要因が統計的

手法により明らかになってきた。世界的な権威が集まるランセット委員会(※3)の2017年報告によると、認知症の約35%は九つのリスク(図)を抑制すれば予防できる可能性がある。このうち、高齢期の社会的孤立と運動不足への対策は、10年後には高齢者世帯の4割近くが一人暮らしとなる日本において重要と言えよう。

こうしたリスクの低減に効果的な高齢者の社会参加システム構築が、全国各地で始まっている。先駆的な例としては、千葉県柏市・UR都市機構・東京大学が2010年から同市内の団地で進めてきた就労促進事業がある。高齢者が健康づくりや生きがい創出を主目的に、居住地の近くで無理なく働く取り組みである。新規に用意された都市型農業や学童保育、介護補助などに従事した高齢者からは「生活によい緊張感ができた」「人との交流が増えた」などの回答が寄せられた。「柏モデル」の立役者は、連絡調整や労務管理などを行うコーディネーターであった。高齢者本人と、地場企業や社会福祉法人といった事業主との希望を丁寧にマッチングさせたほか、社会参加のきっかけづくりやその後のコーチングなども活躍した。

さらに今後は、社会参加を促すバーチャルな仕組みも大いに役立つ。例えば、コミュニティ独自の話題を提供する地域SNSや、特定のイベントに出席すれば特典が得られる仮想的な地域ポイントなどだ。ICTやAI技術を活かすことにより小まめなきっかけづくりの仕掛けができれば、認知症を防止する一手にもなりうるはずである。

[図] 認知症の発生に対する各リスク因子の影響度



(※1) 経済協力開発機構(OECD)の「図表でみる医療2017」によれば、2017年時点で日本の認知症患者数は1000万人中233人と、加盟国中1位。

(※2) 厚生労働省「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」による推計。

(※3) 英国の医学雑誌「The Lancet」の認知症予防介入ケアに関する国際委員会。

出所：ランセット委員会2017年報告を基に三菱総合研究所作成

【ヘルスケア】

栄養表示の義務化がもたらす
新たな食・健康ビジネス

地域創生事業本部 葦津 紗恵

Point

- 加工食品の栄養表示が全面義務化。消費者の「栄養摂取」意識も高まる。
- スマホアプリやAIの進化で、よりパーソナルな栄養管理も可能に。
- 栄養と健康情報の蓄積が社会課題解決型ビジネス・研究の進展に寄与。

2020年4月、ほぼ全ての加工食品で栄養表示が義務化(※1)される。生鮮食品の食品成分表と組み合わせ、どのような食事から、どのような栄養をどの程度とったかを消費者自らが把握可能になる。あらためて、食事の「栄養摂取」という側面に注目が集まりそうだ。

今回、義務化される表示は、カロリー、タンパク質、脂質、炭水化物、ナトリウム(食塩相当量)といった生活習慣病の予防につながる5項目である。適切な情報開示により、消費者の食生活改善による生活習慣病の予防、

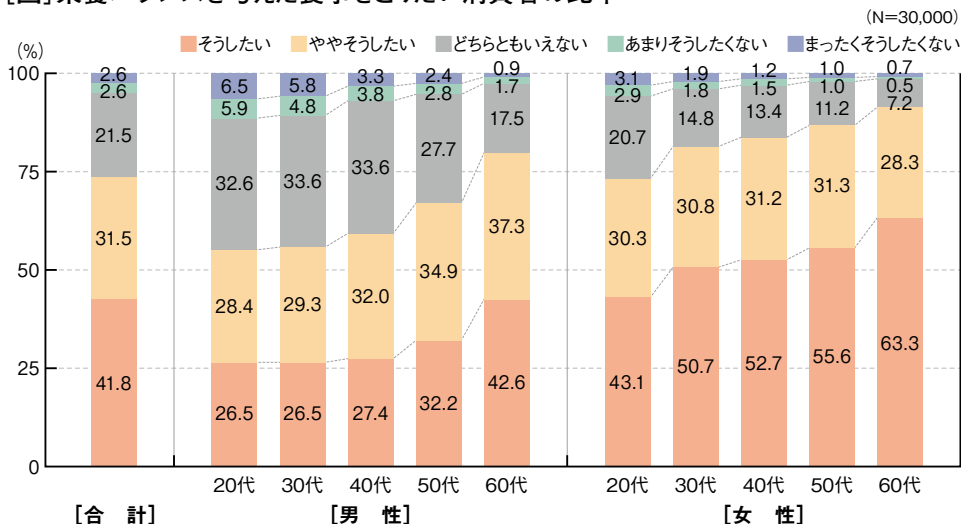
ひいては医療費の削減効果も見込まれる。最近では、日々の食事内容を記録し、カロリーやPFCバランス(タンパク質、脂質、炭水化物のバランス)を自動計算してくれるスマホアプリも提供されており、こうしたサービスが情報の活用を後押しすることが期待される。

しかし、「100グラム中の食塩相当量0.3グラム」など細かな数字を毎食の調理のたび、いくつもチェックするのはしんどい。スマホアプリを使用しても、「入力の手間」「分かることの少なさ」「継続の難しさ」といった壁に直面する。課題はまだ多い。

ただし、加工食品の写真から商品判定して栄養データを自動入力するような機能が普及すれば、日々の栄養管理の作業負担は軽減される。AIチャットボットが進化すれば、糖尿病、貧血などの食事習慣と密接に関係するパーソナルな病気に関するアドバイスも可能になる。利用者一人ひとりのニーズに合った栄養管理が実現すれば、少数派のニーズが主役の「ロングテール」型(※2)の栄養管理の実現が近づくのではない。

超高齢社会を迎えるにあたり栄養管理へのニーズは確実に増すと見られる。当社調査(※3)によれば「健康のために栄養バランスの良い食事をしたい」と考える消費者は約7割で、高齢者ほど増加する傾向がある(図)。スマホアプリやAIの普及に伴い、栄養摂取と健康に関連するビッグデータが蓄積されれば、個人の生活習慣に即したアドバイスの的確になり、健康経営や健康寿命の延伸などに寄与する多様な社会課題解決型ビジネスが発展する可能性が高まる。

【図】栄養バランスを考えた食事をとりたい消費者の比率



出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム(mif)」

(※1) 加工食品の栄養表示の義務化猶予期間が2020年3月に終了。
(※2) 満たされるニーズの種類を多く取りそろえることにより、個別ニーズをもつ消費者が少なくても、全体として多くの消費者のニーズを満たす。
(※3) 三菱総合研究所「生活者市場予測システム(mif)」による調査
対象：日本全国の20～69歳の男女／サンプル数：3万人
調査時期：2018年6月／調査方法：インターネット調査

【国際】

G20を支える
専門家集団の存在

環境・エネルギー事業本部 西村 邦幸

Point

- 課題山積の国際情勢の中、日本はホスト国として初のG20を開催。
- 提言グループに加わった当社は包括的な脱炭素社会の構築を主張。
- 世界的な課題解決に向けて各国政府はグループの提言活用促進を。

貿易戦争や気候変動による災害、移民・難民問題、テロ対策など、世界における課題は山積みである。この状況の中で、日本を初のホスト国とする主要20カ国・地域（G20）首脳会議が6月、大阪で開催された。

各界の意見を首脳会議に反映させ討議を実りあるものにするために、専門的な人材が集まる「エンゲージメント・グループ」が毎年のG20首脳会議に合わせて組織される。20カ国・地域の経済団体で構成される「B20」（2010年創設）を皮切りに、現在は労働組合の「L20」、若者代表

の「Y20」、シンクタンクの「T20（Think20）」など計八つのグループがある。当社は今回T20に参画して、気候変動と環境を議題とするタスクフォース（TF）3のメンバーとなった（図）。

TF3では、先進的な各種措置を通じて脱炭素社会への移行を進めるとともに、循環型の経済社会実現に向けた国際的な政策協調体制づくりを目指すよう提言した。この中で当社は「イノベーション・適切な技術・地域ベースの再生可能エネルギーを用いた包括的な脱炭素社会の構築」を掲げた。

先進国に比べて技術の普及が遅れている途上国では、むしろ新技術導入への社会的制約が少ない。例えば、大型の発電所や送配電システムが整備されていなければ、過去の投資の採算性を考えることなく地域分散型の再生設備を新規に導入しやすい。こうした「リープフロッグ（かえる跳び）型」の発展を目指して、対象地域の生活様式やエネルギー利用形態に配慮しつつ技術移転を進めれば、再生エネルギーによる電化や雇用の恩恵を地域の人々に広く平等に行き渡らせることができる。

今回初めて提言策定に加わり、国内外の多彩な関係者から成るエンゲージメント・グループが示す幅広い知見を、日本をはじめとする各国政府が持続的に政策に採り入れて活用する余地がまだ残されていると感じた。そうすればG20首脳会議が世界の課題解決に果たす役割は、さらに増すであろう。

[図] エンゲージメント・グループとT20のタスクフォース

エンゲージメント・グループ

B20 (Business20)	C20 (Civil20)	L20 (Labour20)	S20 (Science20)
T20 (Think20)	U20 (Urban20)	W20 (Women20)	Y20 (Youth20)

T20のタスクフォース (TF)

TF1 持続可能な開発のための 2030年に向けたアジェンダ	TF2 安定化および発展のための 国際金融構造	TF3※ 気候変動と環境	TF4 インフラ投資の 経済効果と投融资	TF5 アフリカとの協力
TF6 社会的一体性、 グローバル統治、政治の将来	TF7 デジタル世代のための 仕事と教育	TF8 貿易、投資、グローバル化	TF9 ファイナンステクノロジーの 発展と中小企業政策	TF10 高齢化の 経済的影響と移民

※TF3のメンバーは地球環境戦略研究機関、科学技術振興機構、三菱総合研究所

出所：G20とT20の資料より三菱総合研究所作成

【競争力】

AI・ロボット普及は
日本に生産性改革を促すか

政策・経済研究センター 酒井 博司

Point

- AI・ロボットの普及は、新製品・サービスの創造を通じ経済成長に資する。
- 日本のIT革命は効率化が主で新製品・サービス創造は不十分だった。
- 同じ轍を踏まぬよう幅広いオープンイノベーションと規制改革を。

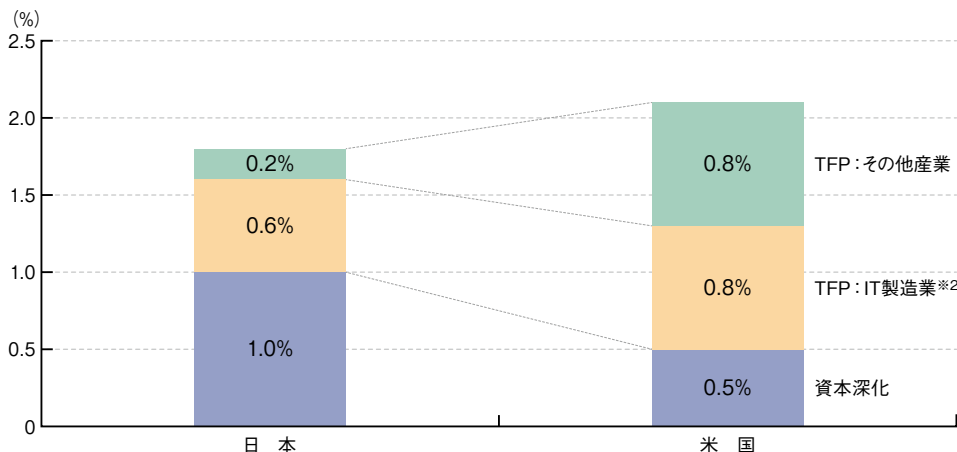
新たなITであるAI（人工知能）とロボティクスは、自動化と相互結合を多面的に進展させる。それにより新たな製品・サービスの提供が促進され、経済成長に資することが期待される。それでは、AIやロボット技術の普及は、IT革命時の米国で見られたような全要素生産性（TFP（※1））の上昇による成長の加速をもたらすだろうか。

IT革命進展時（1995年～2005年）の日米の状況を比較し、日本の特徴を見ると、その間の労働生産性

（GDP／労働者数）の伸び自体は、日米で大差はない。しかし、労働生産性を資本深化（資本ストック／労働者数）とTFPに分けて分析すると、資本深化は日本の伸びが高いのに対し、TFP、とりわけ非IT製造業（その他産業）のTFPが米国を下回っていることが分かる（図）。

推計に際して、GDPの増加につながるTFPを、IT製造業と、それらを活用する「その他産業」に分解（※2）した。日米でIT製造業のTFPは差がなく、それぞれ同程度のIT資本財価格低下がもたらされた。しかし、「その他産業」のTFPにおける日米の差は顕著であり、日本0.2%に対して米国0.8%とかなり離れている。つまり、「その他産業」でIT技術を用いた新製品・サービスによる新市場開拓面で日本は大きく後れを取り、経済成長に差が生じる一因となったと考えられる。

2019年6月に公表されたIMD「世界競争力年鑑2019」の個別項目が示すとおり、日本の「企業におけるデジタルトランスフォーメーション（企業がIT技術を活用し、事業の対象を積極的に変化させる）」は51位（63カ国・地域中）と評価が低い。この状況が続けば、日本でAI・ロボットが導入される過程においてもIT革命時と同じ轍を踏み、経済活動をかえって縮小させてしまうおそれがある。そのシナリオを回避し、AI・ロボットを単に効率化（人員削減）の手段ではなく、新製品・サービスの創造に活用して市場拡大と経済成長につなげるには、幅広いオープンイノベーションと、AI・ロボット化に伴う産業構造変化に対応する規制改革の迅速な推進が必要である。

[図] 日米労働生産性^{※1}の伸び率の分解（1995-2005）

※1: IT化の進展した1995-2005年の期間平均年率換算値。

※2: IT製造業はIT機器（電子計算機・同付属品、通信機器）および情報サービス業（インターネット付随サービス業）。

出所: RIETI, JIPデータベース、米国商務省経済分析局、OECDのデータを用い、Jorgenson(2001)の方法を援用し三菱総合研究所推計

（※1）全要素生産性（Total Factor Productivity）の略で、生産要素である資本や労働投入量の変化によらない生産増加分に対応する。具体的には、生産効率の向上や、技術進歩（イノベーション）などを表す指標である。

（※2）Jorgenson, D. (2001), "Information Technology and the U.S. Economy," *American Economic Review*, 91(1) pp. 1-32]の方法に基づき分解。

経営統合イベント「投信フェア2019 in 長崎」を開催

2019年6月23日(日)、FFGは十八銀行との経営統合を記念して
長崎市内にて「投信フェア2019 in 長崎」を開催しました。



▲親和銀行・十八銀行・FFG証券の各部長による
パネルディスカッションの様子

「ザ・マークススクエア 長崎」(長崎市宝町)にて行われたこのイベントは、人生100年時代への備えとして、お客様の中長期的な資産形成を応援することを目的に、幅広い方へ投資知識、商品・サービス情報をダイレクトにお伝えするために開催したものです。

長崎県を代表する実業家で、株式会社A and Live 代表取締役(株式会社ジャパネットたかた創業者)の高田 明氏と、投資信託の評価会社のモーニングスター株式会代表取締役社長の朝倉 智也氏による基調講演のほか、投信会社各社による講演、親和銀行・十八銀行・FFG証券によるパネルディスカッション等を実施し、528名ものお客様にご来場いただきました。

FFGではこれからも、お客様の豊かな未来創りと地域の発展に貢献する取り組みを続けてまいります。

言格を導く経営

人必死の地に入れば、
心必ず決す。

絶体絶命の状況になれば、すべてのことが決断できる。

幕末維新の開明思想家 横井小楠



横井 小楠 よこいしょうなん

1809年～1869年。幕末・維新期の儒学者、思想家。熊本藩士に生まれて藩校の時習館に学ぶ。江戸に遊学して帰郷後、私塾を開き藩政改革を試みたが失敗。その後、思想に共鳴した越前藩主の松平春嶽のもとで政治顧問となり、江戸に招かれ幕政改革の助言者として活躍する。横井小楠の思想は、幕末から維新にかけて大きな指針となった。

人と人のつながりがビジネスを広げる FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて会員企業さまの発展をサポートいたします。

FFG経営者クラブの主なご提供サービス

☑ FFG経営者クラブ インターネット情報サービスによる情報提供



**ビジネスに即した
様々な情報を入手!**

経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な
情報をタイムリーに提供します。

☑ 商談会の開催



**FFGのネットワークを
利用した商談会!**

販路拡大に繋がる商談会を開催いたします。

☑ セミナー・研修会の開催



**実務情報や
経営ノウハウが直接聞ける!**

人材育成に関するテーマを中心に、経験豊富
な講師陣による各種セミナー・研修会を開催
いたします。

☑ ビジネスマッチングルームのご利用



**交通至便な
福岡天神の商談スペース!**

福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)の**ビジネス
マッチングルームを無料**でご利用いただけます。

☑ 社員教育用DVD・ビデオの無料貸出



**社員教育・研修で大活躍!
多様なテーマでバックアップ!**

新入社員、若手社員向けのビジネスマナーは
もちろん、コンプライアンス経営、顧客満足など、
経営全般に参考となる**DVD・ビデオ(総数200
タイトル以上)を無料**でご利用いただけます。

☑ 24時間いつでもご利用いただける インターネットセミナー



**多彩なセミナーを
インターネットで視聴できる!**

豊富なラインナップから、お客様のご希望の
セミナーを**24時間無制限**でご視聴いただけ
ます。勉強会(社内研修)などにもご活用いた
だけます。

☑ FFG調査月報、小冊子のご提供



**ビジネスに役立つ!
日常業務でも使える!**

福岡ファイナンシャルグループの経済情報誌
やハンドブックをお届けします。

☑ TSR REPORT割引サービス



**新規のお取引の情報収集、
ライバル企業調査に!**

東京商工リサーチの国内企業情報レポート
「TSR REPORT」を**会員割引料金**でご提供
いたします。

お申込み
お問合せは

FFG経営者クラブ事務局
株式会社FFGビジネスコンサルティング内
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階
TEL092-723-2241 FAX092-721-9258
受付時間/平日9:00~17:45(但し、銀行休業日は除きます。)

年会費

26,000円